

2006年度事業活動ハイライト

前年度に続き増収増益

2006年度(2007年3月期)の決算は、主要分野である自動車および情報通信の両関連事業が堅調に推移したことに加え、「ものづくり革新」をはじめとする様々な取り組みにより増収増益となりました。

連結売上高は前期比で14.5%の増収、経常利益は23.4%の増益、当期純利益は71.2%の増益となりました。

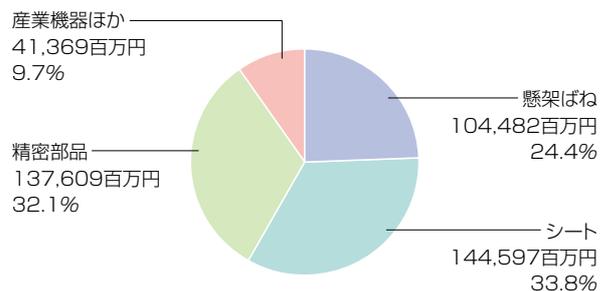
2007年度は、中期経営計画(07中計)の最終年度であり、目標の達成に向け「さらに上」をめざし、全社一丸となって取り組んでいます。

●最近5年間の業績推移(連結)

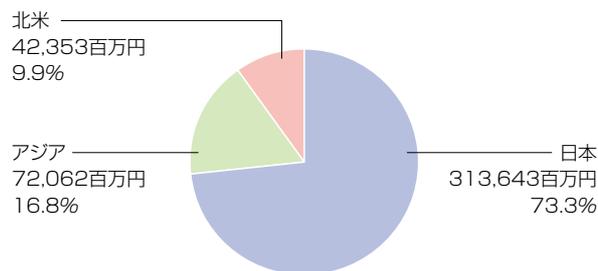
単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益
2003年度	280,950	12,706	6,910
2004年度	334,704	19,136	8,986
2005年度	383,096	23,612	15,389
2006年度	428,059	27,185	15,931
2007年度(予想)	470,000	30,500	19,000

●事業別区分売上高(連結)



●地域別区分売上高(連結)



タイニッパツがHDD用サスペンションの出荷を開始

タイニッパツが、2007年8月29日、HDD用サスペンションの出荷を開始しました。2005年12月に新工場の地鎮祭を行い、2006年7月に最初の生産設備を搬入しました。タイニッパツ社員の一丸となった取り組みと、ニッパツの支援により短期間で稼働にこぎつけました。今後、受注の拡大にともない、大幅な設備増設を行う予定です。

タイニッパツの稼働開始により、日本(駒ヶ根)、中国と合わせて三極体制が確立し、世界のすべてのHDDメーカーに供給できる体制が整いました。今後、さらなる事業の拡大に向けて取り組んでいきます。



HDD用サスペンションを初出荷したタイニッパツの皆さん

伊勢原工場が「かながわ地球環境賞」受賞

伊勢原工場が「平成18年度かながわ地球環境賞」を受賞しました。14年度の横浜、16年度の厚木に続く受賞で、ISO14001の認証取得、ゼロエミッションや省エネルギーなどの活動、二酸化炭素排出量の削減などの取り組みが評価されたものです。

2006年12月17日、横浜開港記念会館で、神奈川県とかながわ地球環境保全推進会議の主催により表彰式が行われました。表彰式には伊勢原工場を代表して、接合・セラミック部の茅本部長が出席し、松沢知事から表彰状と記念品を受け取りました。

伊勢原工場は、工場内の環境保全活動のほか、年2回、近隣の公園の草取りなども行っています。今後も地域に根ざした環境にやさしい工場をめざして積極的に取り組んでいきます。



松沢知事から表彰を受ける茅本部長(右)

伊那工場が環境配慮で長野県から認定

伊那工場が、環境配慮型企業の工場増設に対して助成金を交付する事業を進める長野県から認定されました。これは「信州ものづくり産業投資応援条例」に基づく助成金制度に対して、伊那工場の増設が認められ交付されたものです。

2007年3月16日、鈴木副社長が長野県庁に出向き、村井知事から認定通知書を受け取りました。村井知事からは「ニッパツは世界規模で活躍する企業。雇用拡大を含め、県内工場のますますの発展を期待する」と激励されました。鈴木副社長は「ニッパツと伊那谷との関係は歴史があり、関連会社を含めると1,600人以上を雇用している。縁の深い長野県から助成を受けることができ、たいへんありがたい」とお礼を述べました。

伊那工場の増設中の建屋は順調に工事が進んでいます。堅調な受注に支えられており、さらなる生産の拡大とともに生産性の向上をめざします。



村井知事から認定書を受ける鈴木副社長(左)